

早稲田大学考古学研究室・セツルメント研究会・Archaeo-GIS Workshop・立体考古研究会準備会共催
合同ワークショップ「遺跡・遺構の中の遺物」4

2014年5月10日（土）

早稲田大学戸山キャンパス34号館1階151教室

考古学における 研究データ共有試論

構成

- 1.コンカレント・エンジニアリング
- 2.バックヤードとフロントエンド
- 3.アーキビズム
- 4.研究データ共有のトレンド
- 5.ストラテジー

コンカレント・エンジニアリング Concurrent Engineering

- ITのキーコンセプト
- 同時並行、コラボレーション
- データの互換性、相互運用性
- CALS、電子納品

電子納品：国土交通省

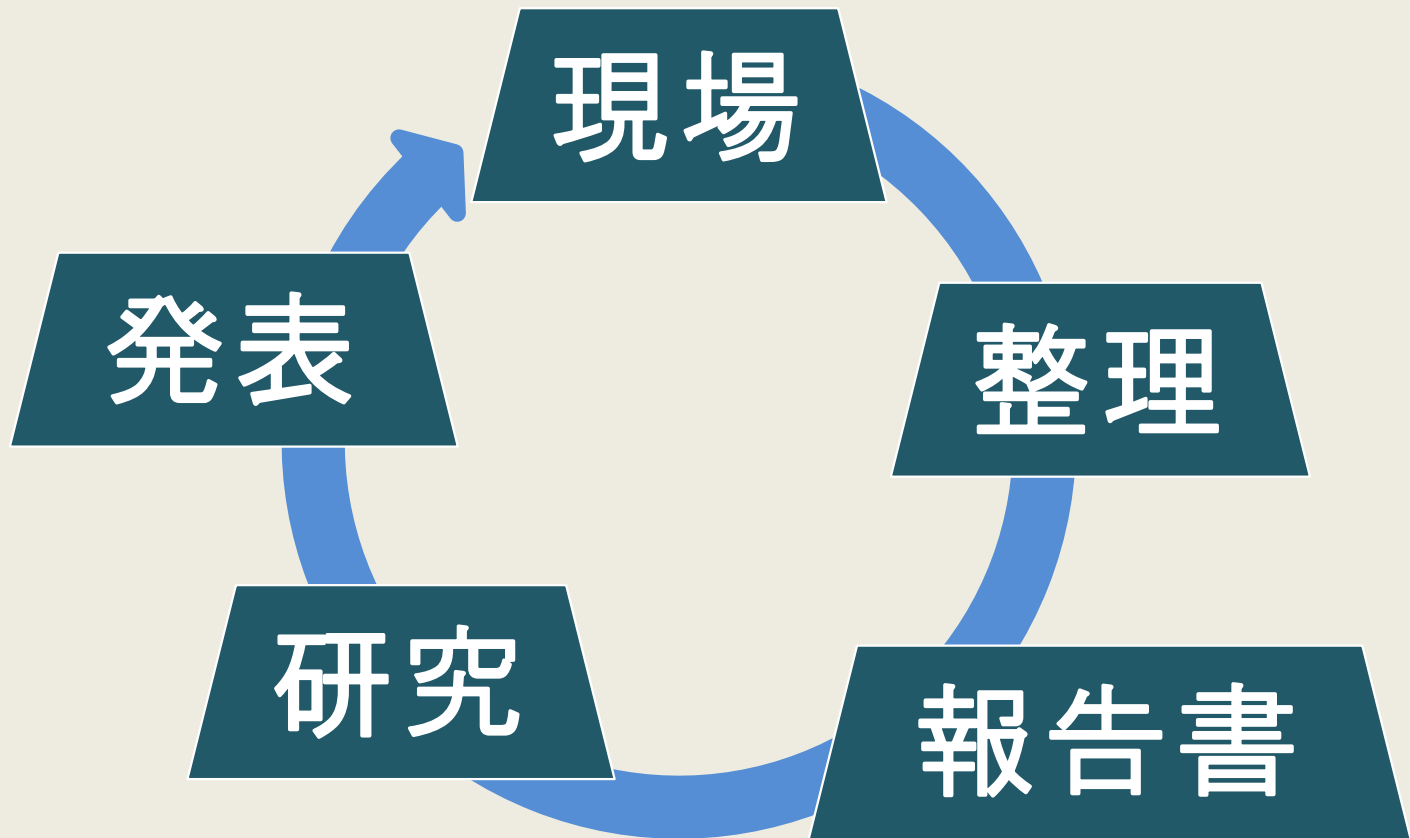
- 調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子成果品として納品すること
- 資料を電子化し、共有・再利用することで、効率化、品質の向上、ペーパーレスを図る

電子納品

- デジタル写真 (PHOTO)
- CAD図面 (DRAWING)
- 報告書 (REPORT)
- 施工計画 (PLAN)
- 打合せ簿 (MEET)

リサーチフロー

Workflow of Archaeology

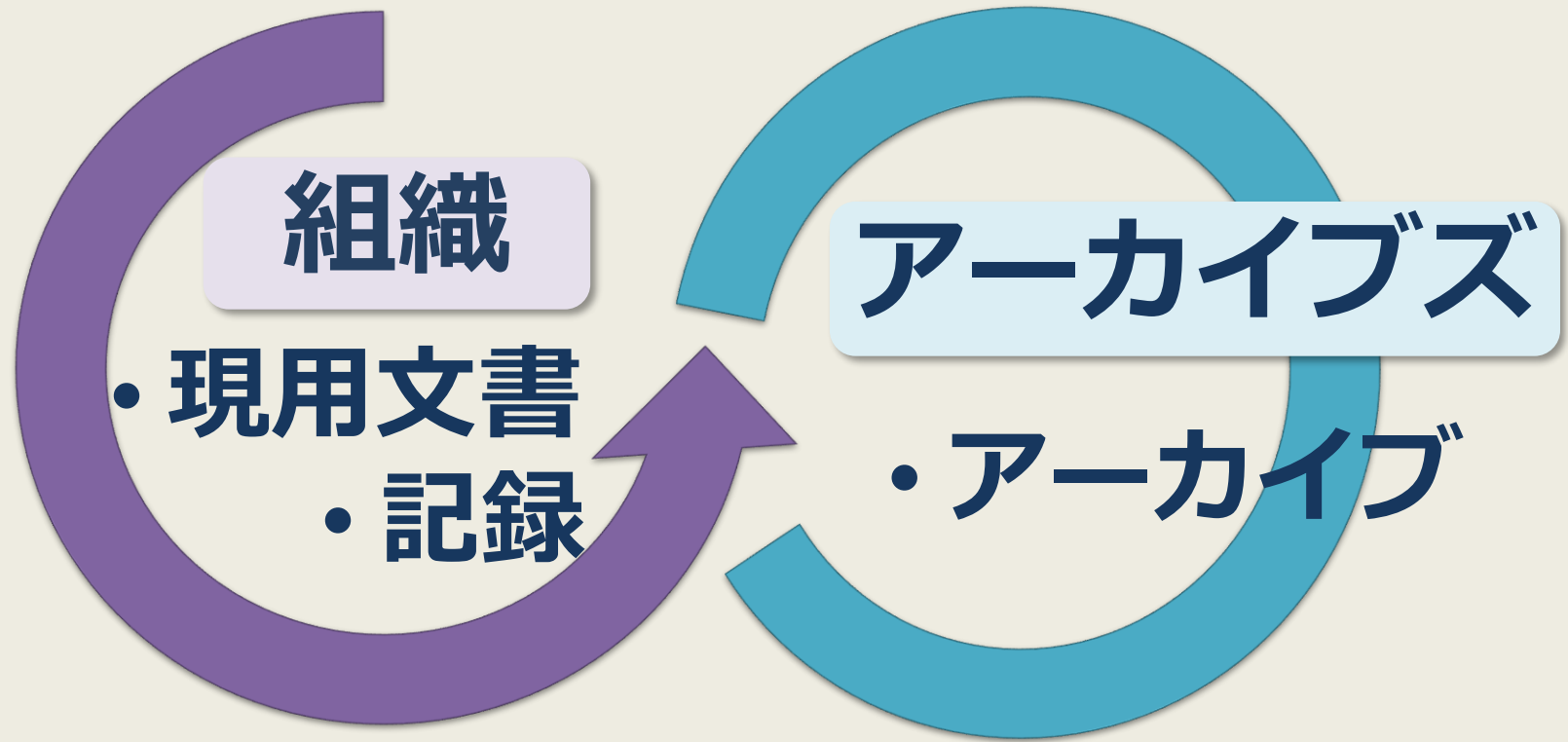


バックヤードとフロントエンド

The Backstage and the Front End

- バックヤード＝情報生産現場
- 展示・刊行物という目的中心
- 研究資料の整理という課題
- エフェメラ、メモ、野帳

レコードマネージメントと アーカイビング



レコードマネージメントと アーカイビング

現用文書

Document

記録

Record

アーカイブ

Archive

レコードマネージャー
記録管理

アーキビスト

レコードマネージメントと アーカイビング

バック
ヤード

中間書庫

アーカイブ

記録管理

アーキビスト

レコードコンティニュアムと レコードキーピング

文書

記録

アーカイブ

レコードキーパー

アーキビストと歴史家 Archivist and Historian

- 組織の歴史、社会記憶
- 個人の足跡、思考の足跡
- 記録性、信憑性、真正性
- キュレーションの方針？

レコードコンティニュウム

- デジタル化で事情が変わった
- 電子メディアシステムには、コピーとアーカイブが埋め込まれている
- 保存性、検索性、閲覧性確保

文書のライフサイクル

レコード・コンティニユウム Records Continuum

データ・シェアリング Data Sharing

研究データ

Research Data

- ✓ Scientific Records
- ✓ Scientific Data
- ✓ Research Data
- ✓ Research Data and Records
- ✓ Scientific and Research Data

研究データ

Research Data

- RAWデータ、加工データ
- ノート、野帳
- ドキュメンテーション
- 要するに、研究・執筆の素材

科学コミュニティにおける データ／レコード

- データ
- ドキュメンテーション
- 組織運営、活動の記録
- 刊行物、発行物

研究データの共有

Research Data Sharing

- 生データの公開
- 研究者コミュニティ主体
- ポータル、国際化

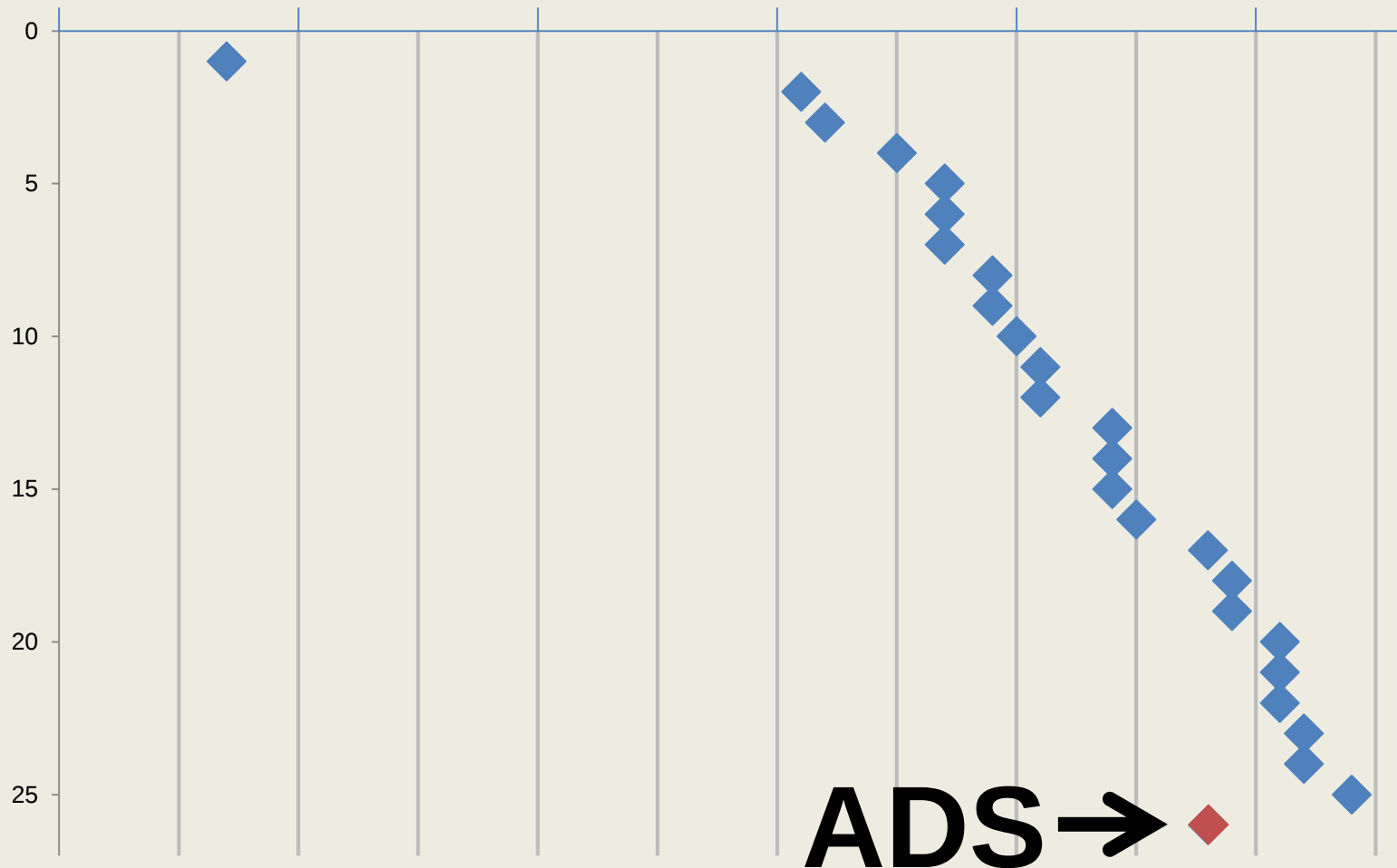
InterPARES

The International Research on Permanent Authentic Records in Electronic Systems

Laurialt, Tracey P., and Barbara L. Craig. 2008. *General Study 10 Final Report: Preservation Practice of Scientific Data Portals*. InterPARES 2 Project. Vancouver, BC: InterPARES2. Accessed May 6, 2014.
http://www.interpares.org/display_file.cfm?doc=ip2_gs10_final_report.pdf

Scientific Data Portals Established

1950 1960 1970 1980 1990 2000



ADS

Archaeology Data Service

- University of York
- a catalogue
- All rights reserved
- No charge to use

ISEKIDAS

Inventory of Sites by Excavation
and Kinds of Implements ;
Documents for Archaeology
Service

「報告書の電子化」 考古学ジャー
ナル418、 **1997.6**、 pp.37-39

ISEKIDAS : 三階層

- 第1層：概要データベース
 - 第2層：詳細データベース
 - 第3層：文書データベース
-

報告書に記載できなかった多くの情報まで、コンピュータの機能を生かして広く収録したい

RDA

Research Data Alliance



正式開始：2012年8月

アメリカ、EU、オーストラリア

RDA

Research Data Alliance

- 世界中の研究者が研究データを障壁なく共用し、利用する
sharing and using
- 標準化 standards harmonization
- 発見可能性 discoverability

RDA Working Groups

- sharing of open research data
- promote data sharing and exchange, data use and re-use, data discovery, stewardship and preservation
- working towards interoperability

RDA : Digital Practices in History and Ethnography IG

- metadata standards for ethnographic and social/cultural historical "artifacts"
- data sharing protocols
- intellectual property questions

ストラテジー

- 目標：データ共有
- ヒストリアンアプローチ
- アーキビストの所在
- DRO : Division Records Officer (CERN)
- 職掌としてのデータキーパー

Reference

- **Archaeology Data Service**
<http://archaeologydataservice.ac.uk>
- **Research Data Alliance** <https://rd-alliance.org>
- 松尾美里「アーカイブズ学から考える科学資料のアーカイビング」
日本アーカイブズ学会 2013年度大会（2013年4月21日）
http://www.jsas.info/modules/20130421/20130421_mm.pdf
- 松尾美里 2013「科学資料をめぐるアーカイバルプラクティス：概要の紹介」アーカイブズ学研究 第19号（日本アーカイブズ学会 2013年11月） pp.26-56